

# 夢前町前之庄地域に 甲子園球場の約10倍 国内最大級規模の産廃処分場計画

## 日本共産党主催の「産廃問題住民学習会」に地元住民110名が参加



「悪臭、水質汚染、火災、ダンプ渋滞」  
全国各地の産廃処分場実態報告

3月17日、夢前町古知公民館で日本共産党県会・市会議員団主催による産廃問題住民学習会が開催されました。会場は立ち見が出るほどの約110名が参加。主催者側からは杉本ちさと県議、大脇、谷川、森、入江、各市議が参加しました。

冒頭、主催者を代表して入江次郎市会議員が「宣伝カーとビラ配布のお知らせだけでこれだけ多くの住民の方が参加して下さいました。ビラ配布後、私の携帯電話には住民の皆さんからの問い合わせやご意見がたくさん寄せられています。産廃問題に対する住民の皆さんの関心が大きく広がっていることを感じます。」と挨拶しました。

住民からの質問に答える入江市議(左側)と奥谷氏

公約実現めざしてがんばります

市会議員  
入江次郎



市会議員  
森ゆき子



市会議員  
谷川まゆみ



市会議員  
大脇和代



# 住民に知らせること、仲間を集め 一致点での輪を広げること 住民運動と世論が決定的

## 産廃業者は 近隣・下流域の全住民を対象とした 住民説明会 開催を

産廃問題の専門家である講師の奥谷和夫さんから約1時間にわたり、スライド写真などを使い各地で起きている産廃処分場の実態、事故事例などが報告されました。

奥谷氏は

- 計画されている処分場はどこに巨大な処分場
- 安定5品目に含まれている廃プラ スチック類には環境ホルモン物質であるビスフェノールAが含まれ

ている、これはミクロ以下のごく微量で人体に影響を与える恐れのある環境ホルモン

- 裁判所の判例では安定5品目とそれ以外の物を完全に分別する事は不可能とする判断が示されている。安定5品目以外の物が埋め立てられた処分場ではメタンなどの可燃性ガスが発生し火災などが頻繁に起きている

● 産廃処分場の建設によって土地などの財産価値が下がった地域もある



左から森市議、杉本県議、奥谷氏、大脇・谷川・入江の各市議



産廃処分場の予定地（前之庄字 庄司谷・谷山・荒神山）

る。悪臭等は広範囲に及びアレルギーを持つ子どもが一番に反応を示す

- 悪臭等は広範囲に及びアレルギーを持つ子どもが一番に反応を示す
- 河川では水生生物の種類数が極端に減る、周辺河川に奇形フランクトンが発生していると地元新聞社も書いた
- 農地では稲穂の葉だけが異常に大きく育つ地域もあった など、各地で起きている実態を自らの調

査や経験も踏まえて報告しました。奥谷氏の報告後、住民から多数の意見や質問が出されました。

学習会には産廃業者側からも数名が参加しており、業者側からは「一方的に産廃業者を批判している」と意見が出され、それに対し奥谷氏は「今回の学習会では実際に各地で起きている事実を報告したもので、産

廃業者を敵視しているわけではない。産廃問題の根本的解決の道は圧倒的な産廃排出量を占める排出、製造元である大企業に対し生産段階からゴミを出さない、製品がゴミにならないように工夫をさせる等の法規制が必要」と答えました。

しかし、「一方的な批判」というのであれば、現在下流域住民から要請の出ている地元説明会を業者側は開催すべきではないでしょうか。住民の不安を解消していく責任は産廃業者側にあります。下流域住民は産廃処分場の建設計画があることを知らされていません。

最後に奥谷氏は「ピラや宣伝、学習会を繰り返して住民に知らせる事、仲間を集め一致点での協同の輪を大きく広げる事、住民運動と世論が決定的」と住民の皆さんに呼びかけました。

最後に入江市議からはお礼と共に「住民の皆さんは業者に対して地元での住民説明会開催を求めて下さい、そして業者の説明会と今日の学習会も参考にし、双方の意見をしっかりと聞いた上で産廃問題に対する判断を住民の皆さん自らで行い、声を上げていただきたい。」と締めくくりました。